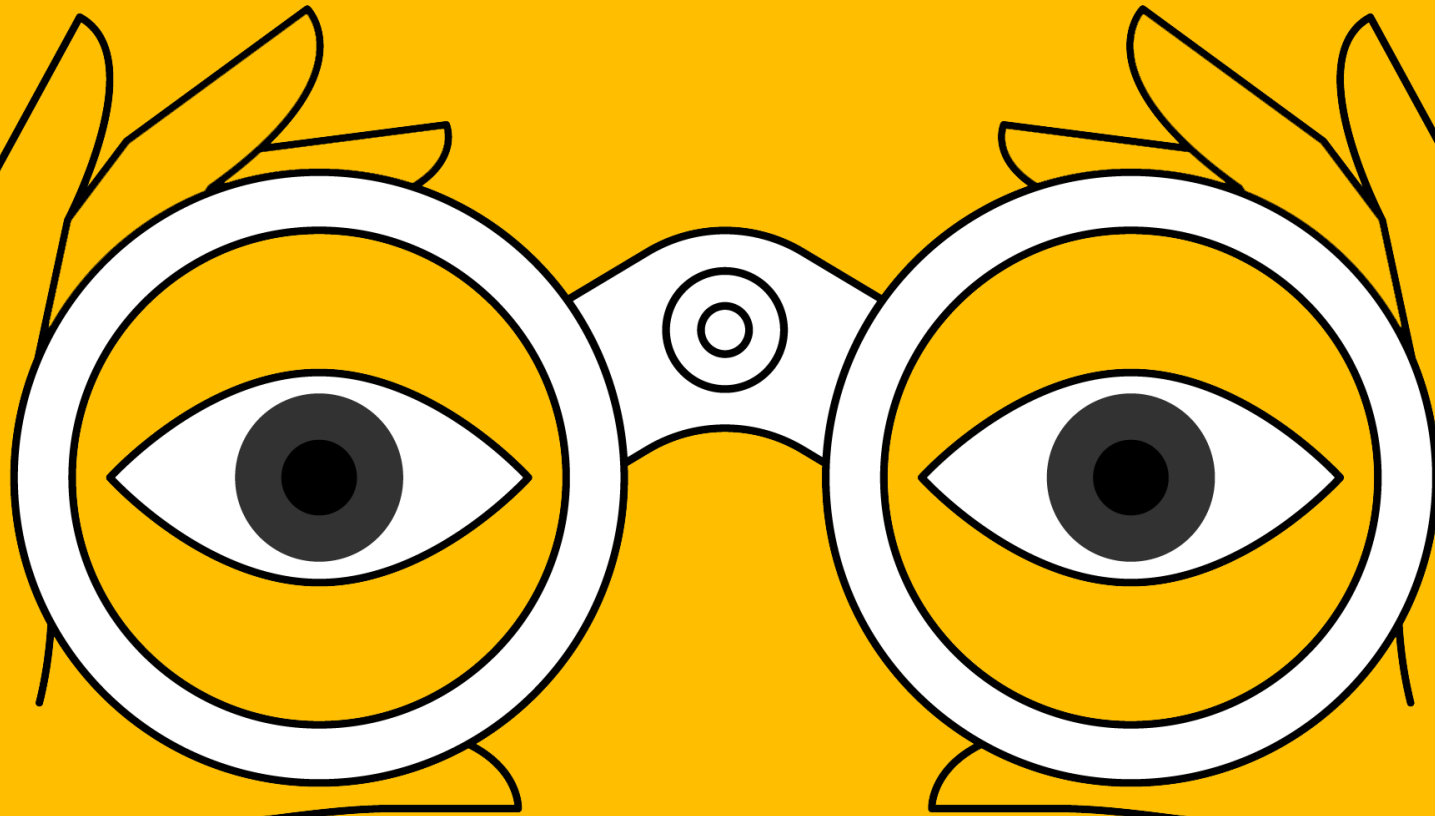


実は知らない?! 気づいていない?! 隠された?! kintone活用のポイント



目次

- はじめに
- 業務改善クラウドサービス kintoneとは？
- kintoneの3つの特長
- kintoneアプリに関する課題の活用ポイント
 - 1. kintoneアプリ迷子問題にサヨナラ！
 - 2. kintoneアプリの整理と効果的な管理方法！
 - 3. ラベルフィールド活用で入力ルールを明確に！
 - 4. アプリの「親子関係」活用で効率アップ&入力のバラつきを克服！
 - 5. データ（レコード）迷子からの脱出！
 - 6. データ（レコード）登録の不安を解消！
 - 7. kintoneでより効果的な検索を実現するための「拡張機能」活用法！
 - 8. kintoneユーザーの救世主！
- 参考）NDIS内製化支援サービスが目指す姿
- まとめ

はじめに

「kintone」は、サイボウズが提供する業務アプリ構築クラウドサービスで、日々の業務課題を解決し、効果的なコミュニケーションを実現するためのツールです。kintoneを使えば、自社で迅速かつ低コストに必要なシステムを作成することができ、業務改善のアイデアをすぐに実行できます。多くの業界や業種で幅広く活用されている優れたサービスです。

しかし、kintone活用に不安を抱かれるお客様や、活用が進まないとお悩みのお客様が多いのも事実です。そこで本資料では基本的ではありますが、**実は知らない、気づいていない、隠されたkintone活用のポイント**をご紹介します。

本資料では、kintoneの活用に関するポイントをアプリやレコードの視点でまとめています。また、私たちもkintoneのヘビーユーザーとして悩んだ経験を共有し、kintoneを活用する際のヒントをご紹介します。kintoneの活用に関する悩みを抱えるお客様にとって、有益な情報となれば幸いです。

業務改善クラウドサービス kintone とは？

誰もが簡単に使えるサイボウズの業務改善クラウドサービス。

業務システム（アプリ）を簡単に作れて、テレワークできる環境づくりに大活躍します。

特長・機能

- **業務システム（アプリ）をプログラミングなしで簡単に作成**
kintoneでは「アプリ」として誰でも簡単に業務システムを作成することができます。あらゆるデータをまとめて「アプリ」に集約できるので、情報が分散しません。
- **データに紐付いたコミュニケーション**
コメント欄を活用すれば、データごとに指示やアドバイスを書き込むことができます。
- **外部サービスや基幹システムとの連携**
API連携やプラグインなどを活用すれば、kintoneと外部サービスとのデータ連携や、機能拡張を行うことができます。

ソリューションイメージ

kintoneは日々の業務課題を解決しながら、快適な コミュニケーションを実現します。表計算ソフトよりも 快適に、専門システムより柔軟に、自社でシステムを 開発するよりスピーディー & 低コストにサクッと、思いついた業務改善をすぐに実行できるのが特徴です。



ご参考
価格

初期費用：不要（導入支援サービスもご用意しています）
月額料金(税別)：1,800円/1ユーザ(スタンダードコース)

kintoneの3つの特長

kintoneってこんなツールです。以下の3つのkintoneの最大の特長です。まずは安心してkintoneに触れていただきたいと考えております。

✓ 難しい

→ドラッグ & ドロップでアプリを作るだけだから。

✓ 失敗しても大丈夫

→項目を削除しても、また簡単に項目を追加できるから。

✓ 何度でもやり直せる

→自分たちですぐに編集・反映できる環境だから。

ここからは、**実は知らない、気づいていない、隠されたkintone活用のポイント**をご紹介します。アプリ、レコードの視点でまとめています。

kintoneアプリに関する課題の 活用ポイント

1. kintoneアプリ迷子問題にサヨナラ！

お悩み

アプリがどこにあるか分からない、アプリ名が思い出せない・・・

せっかくアプリを作成したのに、アプリの利用はもちろん、kintoneの利用も減少してしまうことがあります。

これで解決！

kintoneのアプリの入口となるポータルを工夫することが解決策の一つです。

よく使うアプリなどを見つけやすくなります。実際にNDISでは以下のようなポータルを作成しています。

Before



初期のポータルはこんな感じ・・・

After



ポータルを活用してアプリを見つけやすく！

1. kintoneアプリ迷子問題にサヨナラ！

NDISではポータルデザインを工夫することで、必要な情報が簡単に見つかるようになりました。全てのアプリを表示することは難しいので、よく使うアプリや特に重要なアプリを中心に配置しています。

ポータルを色分け・画像分け

- ・・・それぞれクリックするとkintoneのアプリやスペースへのリンクにすぐにアクセス可能。
- ・・・一部はシェアポイントやチャットボットなどの外部サイトへの遷移も可能。



NDISでは、ポータル工夫により、kintoneのアプリ利用率が向上し、kintone利用が定着しました。

ポータル内のアプリアイコンは、パワーポイントなどで作成した画像を設定するだけでカンタンに設定可能です！

2. kintoneアプリの整理と効果的な管理方法！

お悩み

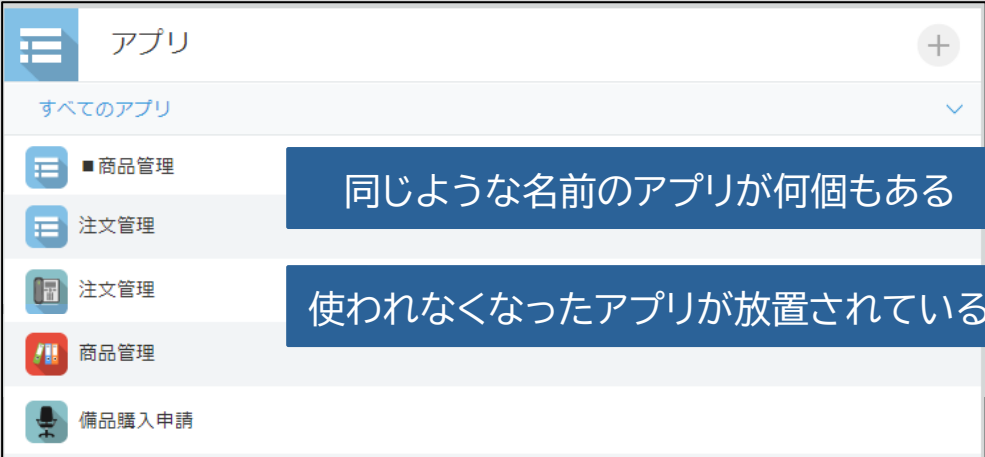
アプリの管理ができていないために、同じような内容・名前のアプリが何個も作られる、作られたアプリが放置されている・・・

これはkintoneの活用が進むとよくある問題で、多くのユーザーが直面しています。自分でアプリを簡単に作成できるため、アプリの数がどんどん増えて、アプリ管理が追いつかないこともあります。

これで解決！

アプリを管理するアプリを作成し、アプリに関する情報を一元的に管理するようにしましょう。

Before



アプリ

すべてのアプリ

商品管理

注文管理

注文管理

商品管理

備品購入申請

同じような名前のアプリが何個もある

使われなくなったアプリが放置されている

After



アプリ台帳

スペース: 事業部共通 アプリ: アプリ台帳

自分が作成したアプ...

作成者 (ログイン名)	利用範囲	アプリ名	アプリURL
菅 由美子	全体利用 (部門間をまたいで利用)	オンデマンド視聴アンケート	https://ndk-itsol.cybozu.com/k/3178/
菅 由美子	削除予定	ツール名募集ボックス	https://ndk-itsol.cybozu.com/k/3101/
菅 由美子	全体利用 (部門間をまたいで利用)	ソリューション資料	https://ndk-itsol.cybozu.com/k/guest/77/2942/

2. kintoneアプリの整理と効果的な管理方法！

アプリを作成する際のルールの整備を試みることも有効です。例えば…

- 新しくアプリを作成する際には所属部署のスペースに配置しましょう
- アプリの作成者自身が定期的にアプリ利用状況を確認し、メンテナンスや削除を行う など

主な設定項目

●基本情報

アプリの作成者 / アプリ名 / アプリURL / 利用範囲と用途、など

●ステータス

アプリの運用状況「運用中」or「運用停止中」、といった情報の管理も行えます。

●カスタマイズの有無、適用されているプラグイン

アプリ統合時などに必要な要素がすぐに分かります。



◎ アプリを管理するためのアプリを用意しておくことのメリット

- 利用範囲や用途が重複しているアプリを見つけ出し、ひとつにまとめる
- 長らく利用されていないアプリを非公開に切り替えるという判断基準にもなる など

3. ラベルフィールド活用で入力ルールを明確に！

お悩み

入力ミスや漏れが多い、漏れが多いせいで絞り込みや検索がしづらい、せっかく作ったアプリを利用してくれる人が少ない・・・

「入力ルールが分からない」「どういった基準で選択すればいいか分からない」などの理由でこういった課題がでてきます。アプリ作成者側の意図が、ユーザーにしっかりと伝わるような工夫が必要です。

これで解決！

ラベルフィールドを活用してアプリやレコード登録のルールを記載してみると改善されるかもしれません。

どの選択肢を選べば良いのか迷ってしまう

書き方のルールが分からない

必須項目ではないので入力を忘れてしまう

3. ラベルフィールド活用で入力ルールを明確に！

ラベルフィールドは、見出しや説明文などを表示するためのフィールドです。

文字の大きさや色、書体、背景色などを変更することができ、アプリの補足情報を追加するために利用できます。

- ・単純に、フィールド名を目立たせる
- ・入力ミスの多い項目であれば注意喚起の文言を入れる
- ・参照させたい情報があればリンクを挿入する

などさまざまな使い方が可能です。



4. アプリの「親子関係」活用で効率アップ&入力のバラつきを克服！

お悩み

毎回同じデータを入力するのは面倒だし、表記のゆれが発生し、検索しづらい・・・

同じデータを手入力すると入力ミスや表記ゆれの原因となり、検索性の低下や、管理が煩雑になりアプリの利用を断念したりするケースです。

これで解決！

アプリの「親子関係」を活用し、入力項目を最小限に抑え、入力をよりスムーズにしましょう。

<アプリの「親子関係」とは？>

親データとなるアプリに複数の子アプリを結びつけて設計されている状態のことです。

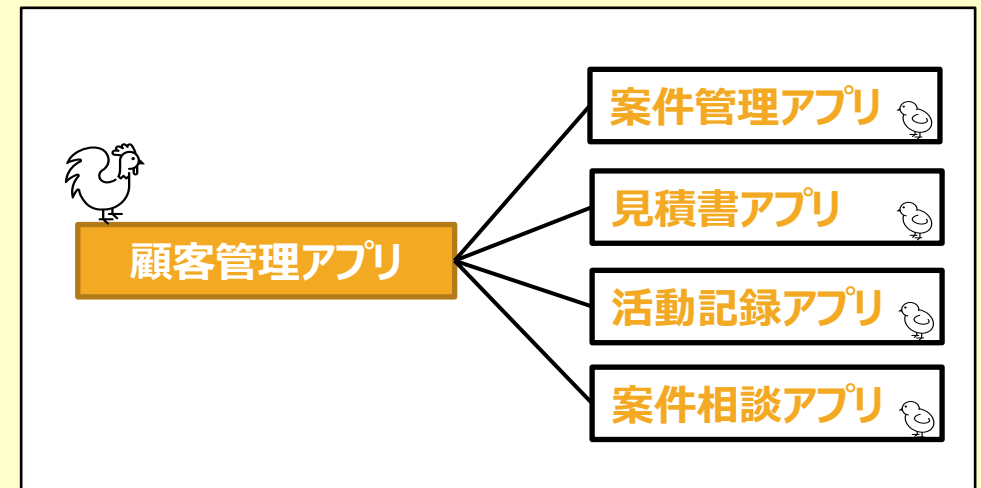
親子関係のアプリは、「ルックアップ」「関連レコード一覧」「アプリアクション」などを利用してデータを連携します。

親子関係を活用すれば

- ・入力の手間を削減
- ・入力を最小化することにより、入力方法のバラつきを防止
- ・集計も行いやすくなる

既存の情報はなるべく入力させないようなアプリ設計にすると、入力ミスや表記ゆれを防ぐことができます。

・アプリの親子関係活用で「入力の最小化」



kintoneレコードに関する課題の 活用ポイント

5. データ（レコード）迷子からの脱出！

お悩み

データ（レコード）が増えて探したい情報がすぐに見つけれない、順番に並べてあるところから探せるようにしたい・・・

データ（レコード）探し出すのに苦勞すると、便利なツールを使うのも嫌になってしまうこともあります。

これで解決！

そこで使えるのが**カテゴリー機能**です。データの中の語句や項目などを容易に探し出せるように一定の順序に並べてくれる機能です。

Before

	単語	解説
■	APIトークン	外部のプログラムでkintone REST APIを実行する際に認証...
■	アプリコード	アプリを識別するためのコードです。
■	アプリグループ	複数のアプリのアクセス権を一括して管理するためのグル...
■	アプリアクション	レコードのデータをコピーして、指定したアプリにレコード...
■	宛先	スレッドやコメントに書き込んだときに、通知を送信する相...

探したい情報をすぐに見つけることができない・・・

After

	カテゴリー	単語	解説
すべて			
あ行	■ え	APIトークン	外部のプログラムでkintone REST APIを実行する...
あ	■ あ	アプリコード	アプリを識別するためのコードです。
い	■ あ	アプリグループ	複数のアプリのアクセス権を一括して管理するた...
う	■ あ	アプリアクション	レコードのデータをコピーして、指定したアプリに...
え	■ あ	宛先	スレッドやコメントに書き込んだときに、通知を送...
お	■ あ	アプリ	データや業務プロセスの管理をシステム化した、業...
か行			
か			

あいうえお順や部署順に並べてあるのですぐに見つかる！

5. データ（レコード）迷子からの脱出！

例えば、部署ごと、シリーズごと、用語の頭文字ごとなど、さまざまな単位で任意で設定可能です。

カテゴリ機能設定方法

- レコードを階層形式で分類できます。
- 親カテゴリを含め、5階層まで設定できます。

「アプリの設定」-「設定」タブ
「その他の設定」-「カテゴリ」から設定します。



カテゴリ機能を有効に設定することで初めてフォームタブに「カテゴリーフィールド」が姿を現すので、見つけにくい&忘れがちな機能かもしれません。
この機能により、スピーディに欲しい情報を表示・検索させることが可能になります。

6. データ（レコード）登録の不安を解消！

お悩み

編集途中だけどレコードは下書きとして残しておきたい、もう少し情報を揃えてからアプリに反映したい・・・

入力途中で中断したいがレコードとして残ってしまうので、登録をためらうこともあります（そのままレコード登録を忘れることもあったり・・・）。

これで解決！

アクセス権設定の工夫で『**下書き保存**』機能を実現できます。権限設定をうまく活用した例です。

Before

日付 * 2022-09-01

テーマ kintoneの機能について

学習方法

内容メモ あとで追加

まだ途中なので「下書き保存」を選択

下書き保存

下書き保存を選択すると、公開されずに保存されます。

After

日付 * 2022-09-01

テーマ kintoneの通知機能について

学習方法

内容メモ 【kintoneのメール通知機能について】
▶通知のメール送信機能を利用する
→kintoneの通知をメールでも送信する機能

書き終わったので「保存して公開」

保存して公開

入力が完了したら「保存して公開」で全体公開されます。

6. データ（レコード）登録の不安を解消！

自分が作成したレコードは、「下書き保存」を選べば、自分以外のユーザーには表示されなくなります。

アクセス権設定方法

1. アプリのフォーム設定で、選択肢を置くためのフィールドを用意し、フォームを保存したら、「設定」タブに移動

「入力完了」か「下書き」かを選ぶためのフィールドを設ける
(ここではドロップダウンフィールドを使用)

2. 「アクセス権」の項目から、「レコードのアクセス権」の設定画面を開く
3. 「入力完了」が選択されているレコードについてはアクセス権の制限は設けない、「下書き保存」が選択されているレコードに対しては、そのレコードの作成者のみにアクセス権を付与という設定を行う。

この画像ではドロップダウンフィールドを使っています。もちろん、ここはラジオボタンや、チェックボックスにしてもかまいません

ドロップダウンの設定	
項目と順番	
下書き保存	+ -
入力完了	+ -
初期値	
下書き保存	▼

設定項目	設定内容
ドロップダウン	下書き保存 (選択)
許可する操作	閲覧 [x] 編集 [x] 削除 [x]

「下書き保存」が選択されている場合、レコードの作成した本人のみがレコードを編集・閲覧ができるように設定



アクセス権をレコード作成者のみに付与するだけで、下書き保存が可能になります。
「下書き保存」というワンクッションがあると安心です。

7. kintoneでより効果的な検索を実現するための「拡張機能」活用法！

お悩み

条件を入れても欲しい情報が抽出できない、検索条件の設定を行うだけで時間がかかってしまう、ふわっとしたキーワードであいまい検索を行いたい・・・など、場合によっては、kintone標準機能の検索機能だけでは欲しい情報をすぐに抽出できるわけではありません。

これで解決！

拡張機能を活用すれば、簡単にカテゴリ・区分等を選択、キーワードを入力でき、検索機能を向上することができます。

Before

絞り込み条件の指定をするの手間

欲しい情報がヒットしない場合も…

フィールドごとの検索が煩雑で利用しづらい…

After

拡張機能を活用すれば…

カテゴリ・区分等による絞り込みや、
キーワード入力による検索機能を実装！

7. kintoneでより効果的な検索を実現するための「拡張機能」活用法！

絞り込みや検索の利便性を向上させるための拡張機能はさまざまあります。

弊社のkintone環境では、「**gusuku Customine**」という**拡張機能**を使用してアプリ内検索フォームの利便性を向上させています。

「gusuku Customine」は、検索機能の強化を含む複数の機能からなる拡張機能です。

この機能を使用すると、フィールドごとに条件指定を行わずに、**クリック操作で簡単に絞り込みができます**。

また、**キーワードを入力して検索することもでき**、その他、様々なカスタマイズも可能です。

このようなノーコードツールは、JavaScriptなどのコーディングに関する知識がなくても利用でき、誰でも簡単に実装できる点が嬉しい特徴と言えます。

※次ページにて「**拡張機能について**」詳しくご案内いたします。



拡張機能を活用すれば、ユーザーの利便性が向上し、kintone活用が進むケースもございます。ぜひ運用改善の一手段として検討してみてください。

参考) 拡張機能について

kintoneでは、より便利にアプリを活用するために様々な拡張機能が用意されています。拡張機能は有償・無償どちらもありますので、サイボウズサイトにある[kintone拡張機能サービス一覧](#)よりご確認ください。

kintoneに拡張機能を付帯すれば、kintoneの利便性が向上し、より使いやすく、機能をカスタマイズすることができます。

プログラミングなどの専門知識は不要です。

社内で要望の多い機能だけでもレベルアップするために活用を検討されると良いでしょう。



検索機能を便利にするための拡張機能

参考) NDISで活用しているkintone拡張機能サービス



kintone上で利用できる
AIチャットボット
きんちゃぼ



「こんなことできたらいいな」を
ノーコードで実現する
gusuku Customine

8. kintoneユーザーの救世主！

お悩み

kintoneで〇〇なアプリを作りたいんだけどどういう仕組みで作れば適切なのだろうか・・・
こういうとき他社はどうしているんだろう・・・同様の課題を持つ他社事例はないのだろうか・・・
など、kintoneを導入したは良いが、「相談できる場所がない」と悩まれ、そのうちにkintoneが使われなくなる、なんて方も少なくありません。

これで解決！

伴走型の支援サービスを活用すれば、気軽にkintoneのお悩みを解決することができます。
他社のQAを見たり、チケットを使って質問することもできるので、kintoneユーザーにはなくてはならないツールです。



Q kintone

検索結果: 51件

Q&A (最新) 未分類 #kintone

Q Azure ADでkintoneにSSOするSAML設定の設計図書の雛形はありますか？
docチュートリアルチュートリアル: Azure Active Directoryとkintoneの統合
2021年10月07日に回答

田中 未分類 #kintone #ニュースウェア

Q (アセット) kintone SFAバック
kintone SFAバックは、以下5つのアプリで構成されたものになります。・顧客管理・顧客担当者管理・案件管理・業務...
2022年2月28日

古 未分類 #kintone

Q kintone開発サポートドキュメント(標準機能、プラグインの範囲)
ドキュメントの位置づけkintone開発初心者、プラグインを利用される方向けの開発サポートドキュメント概要ドキュメン...
2021年11月10日

海 未分類 #kintone #顧客情報あり

Q kintoneアプリ開発プロジェクト事例紹介
kintoneアプリ開発プロジェクトの事例紹介です。プロジェクト推進部で開催したkintone勉強会で、プロジェクト運営方...
2021年12月16日

桑原 未分類 #kintone #kintone認定 アソシエイト試験

Q kintone 認定 アソシエイト 試験対策テキスト 第2版』アップデート・訂正情報
kintone認定 アソシエイト試験対策テキスト [第2版] の新試験対応&訂正校正資料です。kintone認定 アソシエイト試験...
2022年1月25日

桑原 未分類 #kintone #gusaku_Customine #Repotomiu

Q kintoneシステム管理者向け説明資料
概要お客様にkintone アプリテンプレートを納めたときにkintoneを触ったことがないシステム管理者向けの概要説...
2022年2月18日

人気投稿 30日

- 1 姫 お客様へのメールでのファイル送付の代...
- 2 甲 勉強会！今さら聞けないコンテナ！Day1...
- 3 甲 中野 伊藤
- 4 姫 IBMi UPDDTAでキー項目が変更できない

吉 インフラサービ 英標準) : 要件

ナレッジWebサイトでは、NDISグループで蓄積されたナレッジを惜しみなく公開いたします

8. kintoneユーザーの救世主！

「kintoneによる業務アプリ作成」から始める顧客伴走型の支援サービス：NDIS内製化支援サービス

内製化支援サービスは、お客様ご自身で継続的にDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進できる様にシステムづくりの「内製化」をご支援するサービスです。

月額30,000円～の定額サービスで追加料金なしで、kintoneやUiPathなど、複数製品のナレッジを追加料金なしでご活用いただけます。

>> [製品サイトを見る](#)

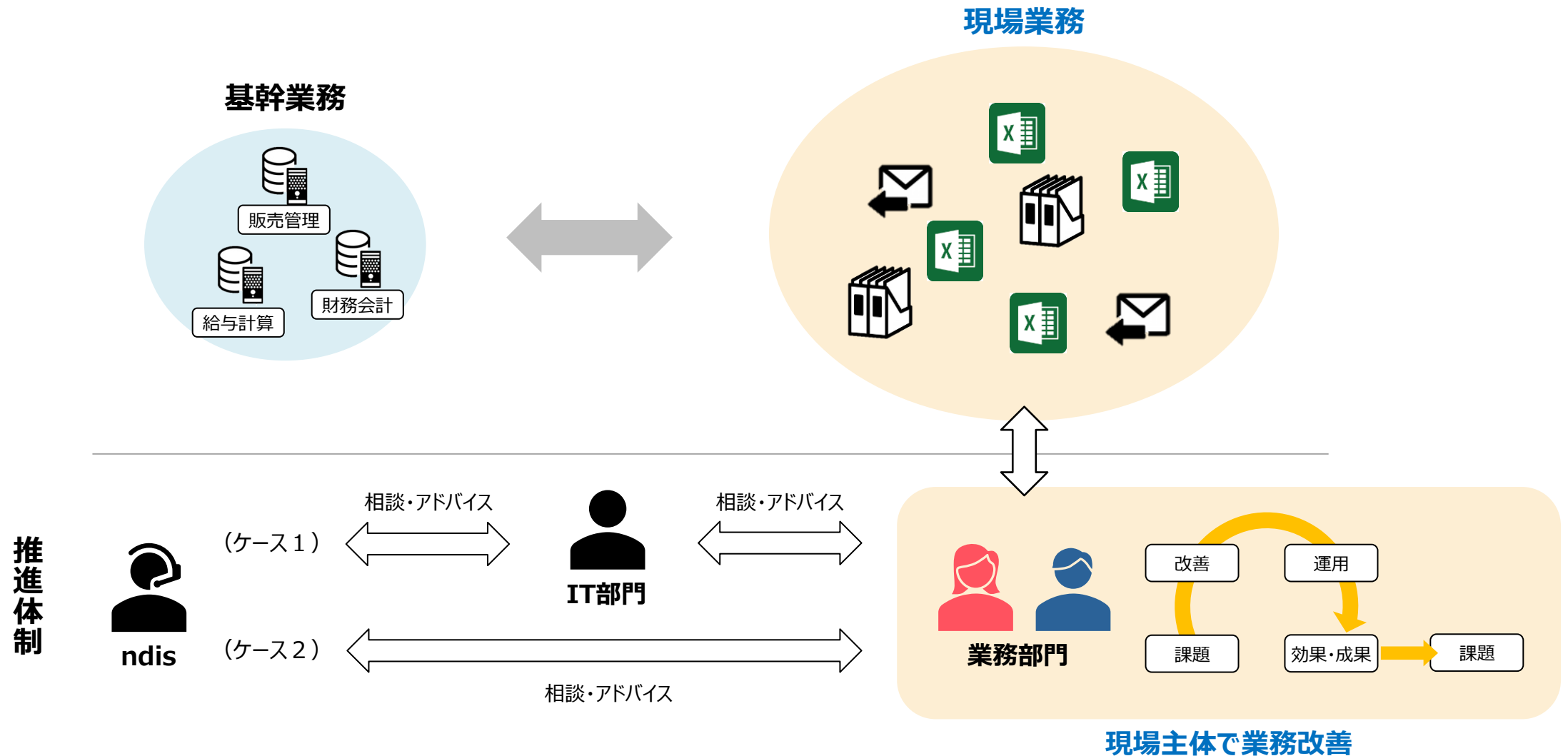
※右のQRコード、URLからもダウンロード可能です。



kintoneは多種多様な使い方があります。それゆえ、質問内容も多岐にわたります。伴走パートナーを活用し、ツールの使い方を学ぶことも効率的と言えます。内製化が進むと、デジタル技術/ツールの利用に詳しくなります。そうすれば、ITベンダーに外注する際も的確に指示や依頼ができるようになるはずです。そのためにも御社に合った、知見のある伴走パートナーを見つけてください。

参考) NDIS内製化支援サービスが目指す姿

現場の人が主体となり、継続的且つ迅速に働き方の変化への対応や業務改善を実行できます。

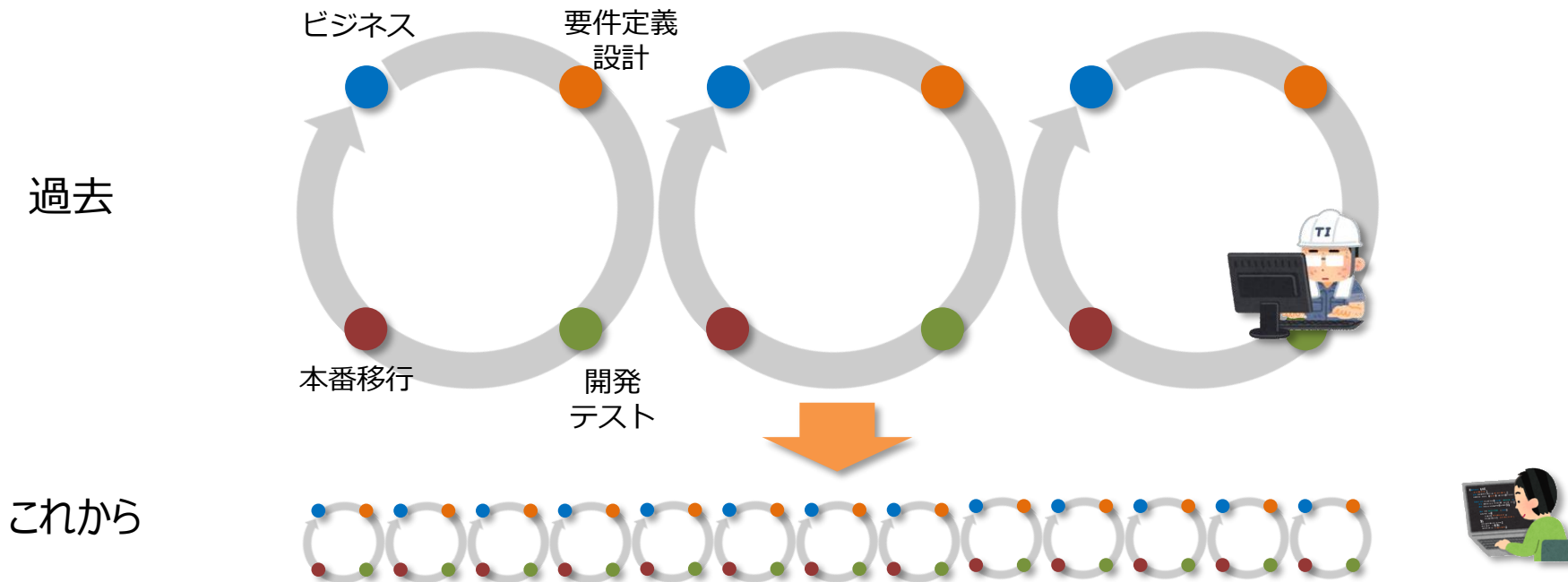


まとめ

kintoneは非常に汎用性が高く、簡単な操作で誰でもアプリを作成できることが、その最大の魅力です。しかし、あまりにも多機能であるため、活用が進まない事例が多く見受けられます。

当社では、kintoneを業務システムとしてだけでなく、データのハブとしても活用し、さまざまなシステムからのデータを一元管理し、BIツールを使用して効果的な分析を行っています。私たちはkintoneを活用して得た知識と経験を共有し、ビジネスの変化にスピーディに対応できる強力な企業への変革をサポートしたいと考えています。

kintoneを使いこなし、ビジネスプロセスを効率化し、競争力を高めるお手伝いができれば幸いです。



サイボウズオフィシャルパートナー NDIソリューションズ株式会社



NDI SOLUTIONS LTD.

- 本社所在地：東京本社（東京都港区）、大阪本社（大阪府大阪市）
新潟本社（新潟県新潟市）、徳島本社（徳島県徳島市）
- 事業拠点：東京／札幌／新潟／横浜／名古屋／大阪／徳島／岡山／福岡
- 資本金：4億円 ● 従業員数：約400名

沿革

- 1981年 創業42年のIT企業
- トップラン・ムーア株式会社のソフトウェア事業部門が独立（以後2度親会社の変更）
- IBM社のソリューションプロバイダーとして各種サーバー等の販売及びサービス事業で成長
- 現在はお客様のDX推進のご支援を中心に各種ソリューションをご提供

事業内容

基幹系業務システムからDXご支援までワンストップでご提供

クラウドサービス、インフラソリューション、画像認識AI、AIチャットボット、RPA、ERP等

特長

「ショールーム」ポリシー：自ら導入/利用し、価値を確認し、ご提案する

内製化支援サービスに関するWebサイト／ダウンロード資料のご紹介



内製化支援サービス Webサイト

お客様ご自身による
システムづくり＝「システムづくりの内製化」をご
支援するサービスです。

>> [製品サイトを見る](#)

※右のQRコード、URLからもダウンロード可能です。



<https://bit.ly/3TPAIJJ>



お役立ち資料

内製化は、業務現場部門とIT部門/ITベンダーが協力してこそ実現できるものと考えております。弊社でもシステムづくりの内製化を実現したからこそお伝えできることです。内製化をDIYに例えて分かりやすく解説しています。

>> [資料をダウンロードする](#)

※右のQRコード、URLからもダウンロード可能です。



<https://bit.ly/3VRYkJc>



ndis

変化の一步先を。

NDIソリューションズ株式会社

NDIソリューションズ株式会社

ソリューション戦略本部 マーケティング部

ndi.marketing@ndisol.com